

民法 III

2 単位 3 年 (前期)

直井 義典・准教授/社会創生学科, 上原 克之・准教授/社会創生学科

【授業目的】民法 I・II の学習をもとに、金融界で必須の債権総論・担保物権に関する知識を身につけ、民法のうち財産法領域の体系的な理解をする。

【授業概要】本講義では、金融界で必須の知識となっている保証人・抵当権・連帯債務などについて扱う債権総論・担保物権法を、これまでに学習した事例との関連に気を配りながら講じていく。余力があれば最先端の金融手段についても講じることとしたい。

【キーワード】債権, 保証, 担保, 抵当権

【先行科目】『民法 I』(1.0), 『民法 II』(1.0)

【履修上の注意】毎回六法を持参すること。

【到達目標】民法の根底をなす概念を習得することにより、物権法・債権法と関連させた形で財産法の全体像が把握できるようにする。

【授業計画】

1. 債権内容の確定
2. 弁済
3. 債権譲渡
4. 強制履行
5. 損害賠償
6. 債権者代位権
7. 詐害行為取消権
8. 連帯債務・保証債務
9. 抵当権 1(概要)
10. 抵当権 2(効果)
11. 抵当権 3(特殊な抵当権)
12. 非典型担保 1(仮登記担保)
13. 非典型担保 2(譲渡担保・所有権留保)
14. 法定担保物権 (留置権・先取特権)
15. 質権
16. 期末試験

【成績評価】出席状況 (25 点) ならびに期末試験の成績 (75 点) による。

【再試験】行わない。

【教科書】

- ◇ 大村敦志 『基本民法 III 第 2 版』(有斐閣)
- ◇ 中田裕康=潮見佳男=道垣内弘人編 『民法判例百選 I 第 6 版』(有斐閣)

◇ 中田裕康=潮見佳男=道垣内弘人編 『民法判例百選 II 第 6 版』(有斐閣)

【参考書】講義の際に適宜紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219314>

【連絡先】

⇒ 直井 (naoi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 10 時 25 分 ~ 11 時 55 分)

⇒ 上原 (088-656-7173, uehara@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL